

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		衣料品専門店（経営者）	・雪が無いため足場が良く、客の来店頻度も例年より高まっている。春物商品が早い時期から動いており、引き続き活発化する。社員を募集しても応募が少ないことから、女性の働く場が増えていると推測され、また働く女性の所得も増えているため、ファッション商品の購買増が期待できる。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・最近の求人倍率や契約社員から正社員へのシフト状況などを見ると、市場は活性化し、消費は上向く。
		観光型旅館（経営者）	・最近、旅行社の企画でこだわりの高額商品が増加している。以前は、低額商品が多かったが、徐々に高額商品を希望する客が増えている。
		旅行代理店（従業員） 通信会社（営業担当）	・法人需要を中心にオファーが増加傾向にある。 ・卒業や入学シーズンを迎え、携帯電話業界は多忙な時期に移行する。来客数や販売量の動きから見ても、例年以上の増加が期待できる。
		テーマパーク（職員）	・今後の予約状況は団体・グループ客が比較的堅調で、前年に比べてもプラス傾向にある。
		住宅販売会社（従業員） 住宅販売会社（従業員）	・客は住宅ローン金利の上昇を意識し始めており、今後、住宅の契約は増加する。 ・腰を据えて、コストのかかる住宅をつくりたいという客層が増えている。
	変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・一般消費者向けの小売店では、週の半ばなどは目に見えて来客数や売上が減少しており、当面は景気回復が実感できない。
		百貨店（営業担当）	・気温が高いこともあり、春物婦人衣料の動きは良いが、この状態が今後も継続するかどうかは不透明である。
		スーパー（総務担当） スーパー（営業担当）	・食品の動きは前年並みで、客の購買行動は変わらない。 ・暖冬のため、旬の食材の出回る時期がずれており、売れる商品が少ないことから一品単価の前年割れが続く。
		コンビニ（経営者）	・最近ではたばこの売上が前年比110%と増加しているが、それ以外の弁当、おにぎり、パンなどは前年比若干落ちており、当面は現状が続く。
		コンビニ（店長）	・例年は雪が降り、売上の少ない月であるが、今年は好天に恵まれ、売上が確保されている。したがって、従来のように4、5月に向けて売上が上昇することはなく、現状のまま推移する。
		家電量販店（経営者）	・パソコンに多少明るい動きが見え始めてきたが、薄型テレビが一服状態になってきた。
		乗用車販売店（経営者） 乗用車販売店（総務担当）	・客のニーズが経済的な小型車（軽自動車を含む）や中古車にますます向かいつつあるなかで、超高級車の販売台数、売上は縮小気味であるが、利益率は堅持している。ボリュームで稼ぐ手法はもはや通用しない。 ・新型車の販売台数はやや少ないものの、売上単価が比較的高いため、収益に貢献している。5月ごろには量販車種のモデルチェンジが控えており、需要が底上げされる。
自動車備品販売店（従業員） 住関連専門店（店長）	・消費者の財布のひもはまだ固く、売上増となるまでは時間が掛かる。 ・新築やプライダルの需要の先行きが読めない。		
一般レストラン（スタッフ）	・最近ではコンビニ、飲食店等の個人経営の店舗が閉店し、資金力のある県外の大手企業が跡地等に進出するケースが多い。空き店舗は一時期なかなか埋まらなかったが、最近では早く埋まるようだ。大手企業の進出により、人手不足はより深刻化するが、地場の景気を考えれば活気が出て良い。また大型ショッピングセンターや競合店の出店は、立地によって集客の相乗効果が生まれる場合もあり、なんとも言えない。		
観光型旅館（スタッフ）	・予約状況はやや回復傾向にある。		
都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は前年に比べマイナスで推移している。		
タクシー運転手	・利用者が全体として増えないにもかかわらず、タクシー台数は依然として多いため、厳しい状態がまだ続く。		
通信会社（社員）	・携帯電話の番号ポータビリティによる契約増が落ち着いてきた。		

		通信会社（役員）	・2月から発売した録画機能付きSTBの売行きは好調であるが、前年のワールドカップのような大きなイベントも少ないため、売上は現状のままで推移する。	
		その他レジャー施設（職員）	・館内全体で商品単価の低いものは動くが、高めの商品の動きが鈍く、このままの状態が続く。	
		住宅販売会社（従業員）	・資材価格が高騰しているが、そのまま販売価格に転嫁できない。住宅ローン金利の上昇見込みから、駆け込み需要に期待しているが、先行きは不透明である。	
やや悪くなる		商店街（代表者）	・統一地方選挙によって、今年も客足を奪われる可能性が強い。	
		百貨店（売場主任）	・株価に上昇傾向が見られるが、期待している客に購買意欲が表れない。	
		百貨店（売場担当）	・駅の近くに新しい商業ビルが建設される予定で、競争が激化する。	
		コンビニ（経営者）	・冬のレジャーが全く振るわなかったため、春の行楽での消費を期待したい。しかし、今春から主要な客である成年男性や主婦に実質増税の影響が出るので、差し引きではマイナスの要素が大きい。	
		スナック（経営者）	・やがて花見シーズンになるが、4月は統一地方選挙があるため、期待できない。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊・宴会は前年並みを見込んでいるが、婚礼の受注は低迷し、減収の見込みである。	
		タクシー運転手	・新規のタクシー業者は今後も増車を続けるとみられ、売上は更に落ち込む。	
		パチンコ店（店員）	・今後、人気機種の新機種の撤去に伴う入替えに莫大な資金を必要とする。	
		競輪場（職員）	・1人当たり売上単価は3か月連続でワースト記録を更新中である。さらに、入場者の高齢化が目立つ現状から見て、早い段階の回復は期待できない。	
悪くなる		通信会社（営業担当）	・3月は新卒者に向けた割引とともに、携帯電話の値下げが行われ、新機種も登場することから販売台数は大幅に増加する。しかし、この反動により4月以降当分の間、来客数及び販売台数は大幅に減少する。	
企業 動向 関連	良くなる		一般機械器具製造業（経営者）	・最近の引き合い傾向では企業規模に関係なく、設備面への熱気が感じられる。
	やや良くなる		繊維工業（経営者）	・今年の秋・冬物の企画が前向きに進行中である。
			化学工業（総務担当）	・受注量が回復傾向にある。
			輸送業（配車担当）	・原油の値下げが徐々に行われているため、輸送コストの軽減により、収益面は若干改善する。
			通信業（営業担当）	・引き続き、コスト削減を条件とした電話交換機などの更改需要が多い。
	変わらない		精密機械器具製造業（経営者）	・受注総量としては増加傾向にあるものの、商品自体もコスト増になっているため、そのまま収益増につながるかどうかは疑問である。
	やや悪くなる		繊維工業（経営者）	・今後、暖冬の悪影響が予想され、先行きに不透明感が強い。
			一般機械器具製造業（経理担当）	・金利上昇や為替の変動等により、企業にとって向かい風の要因があり、景気がやや減速する。
			新聞販売店〔広告〕（従業員）	・前年に比べ、売上高は横ばい、取扱量は若干増加しているが、単価が低下傾向である。
			司法書士	・暖冬の影響で公共事業が前倒しされ、また除雪関係の仕事がないことなどから、建築・土木関連業者の経営状態の悪化は今後も続く。
悪くなる		建設業（経営者）	・暖冬で手持工事が順調に進ちよくしている一方で、新規の受注工事が少ないため、3月中旬からは工事量が例年になく減少する。これは、公共土木工事を主体とする地元建設業者のほとんどに共通した状況であり、発注の少ない4、5月に向けて非常に厳しい経営状況となる。	
雇用 関連	良くなる		-	
	やや良くなる		民間職業紹介機関（経営者）	・業績好調な自動車関連、工作機械メーカーからの求人が期待できる。
			人材派遣会社（社員）	・正社員の求人ニーズは依然として高いものの、企業の求めるスキルが高く、契約に至らない。現状を踏まえたうえで、派遣料金の引上げを要望しても応諾してもらえない企業は極めて少ない。
	変わらない		求人情報誌製作会社（編集者）	・大量採用などの情報が見られない。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	・日銀の金利引上げや6月の増税などによる変化はあると思 われるが、地方においては大きな動きは出ない。
	職業安定所 (職員)	・新規求人数は前年同月に比べ減少し、正社員の求人比率も 伸び悩んでいるが、就職件数は増加している。事業主の求人 意欲はほぼ横ばいで推移している。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-